

セメント系粉体取扱い作業 リスクアセスメントシート

実施日 年 月 日

業者名		作業内容			保護具着用管理責任者	
メーカー		製品名			化学物質名	下表にチェックを入れる
作業所名		作業期間			SDSシートの有無	有・無
<input checked="" type="checkbox"/>	成分名（別名）	CAS RN	リスクアセスメント 対象物質	発がん性物質	皮膚等障害化学物質	GHSラベル
<input type="checkbox"/>	酸化カルシウム（生石灰）	1305-78-8	○		○	  
<input type="checkbox"/>	水酸化カルシウム（消石灰）	1305-62-0	○		○	  
<input type="checkbox"/>	二酸化ケイ素（シリカ）	7631-86-9	○	区分1A		 
有害性		○強い眼の刺激性、皮膚刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。				
		○酸化カルシウムは水と接触すると強いアルカリ性を示す水酸化カルシウムとなり、皮膚や眼を損傷する。				
		○粉体を吸入すると、気道や気管支、肺まで入り込み、反復ばく露によりじん肺を引き起こす可能性がある。				
緊急時の対応		○眼に入った場合直ちに清浄な流水で数分間洗眼した後、医師の処置を受ける。				
		○皮膚に付着した場合はすぐに拭き取り、水及び石鹼で洗浄する。				
		○炎症等が出た場合は、速やかに医師の診断を受ける。				
その他注意事項		・作業服・防護服の首元や袖口、長靴、安全靴の口からセメントが入らないようにきちんと着用する。（ガムテープで止める、袖口にゴムのあるものを選ぶ。）				
		・作業着に大量のセメント粉じんが付着すると、着替えの際に更衣場所を汚染するなど家庭まで持ち込むことがあるので注意を要する。				

リスクを軽減する対策

種別	作業内容	防塵マスク	防護手袋	保護メガネ	作業服	安全靴
Ⓐ	セメント粉体をこねる作業 (大量の粉体を取り扱う場合、屋内の場合、シリカを含むセメントの取扱いの場合)	区分2以上の防じんマスクを使用する。 (下表参照)			皮膚が露出せず、粉体が皮膚に付着しない服を使用する。(作業時には、セメントが染み込まない作業服を着用し、休憩時には作業服を脱ぐ。夏季においては、熱中症対策が必要。)	
Ⓑ	セメント粉体をこねる作業 (屋外の場合)	区分1以上の防じんマスクを使用する。 (下表参照)	天然ゴム製等の手袋を使用する。	側板（サイドシールド）付き保護眼鏡を使用する。		安全靴を使用する。 (粉体が入らない長靴を推奨する。)

■選択したマスク（保護具着用管理責任者が作業開始前日までに記入：該当する種別を○で囲む）

		S	試験粒子に個体の塩化ナトリウムを用い測定	L	試験粒子に液体のタル酸ジオクテルを用い測定	区分				
D	使い捨て式防塵マスク	DS1		DL1		区分1：80.0%				
		DS2		DL2		区分2：95.0%				
		DS3		DL3		区分3：99.9%				
R	取り換え式防塵マスク	RS1		RL1		区分1：80.0%				
		RS2		RL2		区分2：95.0%				
		RS3		RL3		区分3：99.9%				
作業員の サイン										
元請 確認										